

Rotary



ロータリー:
変化をもたらす

平塚西ロータリークラブ 週報

会長 成田 清
幹事 斎藤 宙也
エレクト 伊藤 和彦
週報担当 小泉 守

創立 1976年6月23日
例会日 月3回水曜日 12:30より
例会場 カルチャーボンス平塚
平塚市平塚 5-32-12
TEL 0463-34-9911

事務局
〒254-0045 平塚市見附町 32-7
TEL 0463-33-1475
FAX 0463-33-8676
E-Mail : office@hiratsuka-w-rc.jp

第2030回 2018年9月19日(水)



出席報告	総会員数	計算対象数	出席会員数	今回出席率	メイクアップ	修正出席率
	29名	28名	17名	60.71%	0名	9/5 78.57%

◆ 会長挨拶 ◆

地区大会記念ゴルフ会には大勢の会員、約250名ものロータリアンが集まりました。特に第5グループの人の多さに圧倒されました。先日の会長・幹事会でも第5グループに女性だけのクラブが誕生するようです。会員数29名の「カメディア」と言う名前のクラブで、男性の入会も大歓迎と言う事です。

本日は先日から行われていた情報集会の報告です。私も3つの班ともに参加させていただきましたが、参加者も多く活発な意見を拝聴させていただき、これからのクラブ運営に反映させたいと思います。

特に12日に行われた若葉会には、8名の全員参加で行われ、若い会員の忌憚のない意見を聞くことが出来ました。

ご意見の中で注目したいのは、月3回ではなく4回に戻してほしいと言う事や、身近なところで奉仕活動がしたいとの事。現在身近な奉仕活動と言うと、少年野球や少年サッカーの後援ですが、私が思いつくのは、2001年に当クラブ25周年記念で創った千年の森（岡崎大橋）の整備などはいかがでしょうか？現在この公園の管理は市が行っており、夏の草刈りは終わっていました。数本の木が植えられており、孔子に因んで植えられた楷の木がだいぶ大きく育っており、ここに季節に応じた花を植え看板が掛けられるようになっているので、共々イメージのためにも、四つのテストの看板でも掛けたらと思っていますがどうでしょうか？

◆ 前期情報集会発表 ◆



第1班 佐藤班長

今回の情報集会、事前に成田会長より議題をいただいておりますのでそれに沿って進めさせていただきましたが、若手の新入会員の出席が叶わず意見をもらえないことが残念でした。

● ロータリークラブの魅力

「特に先輩会員からのお話」については、非常に良いお話を聞けたと思うところです。お話の中身には、自慢話から、昔はこんなこともやっていた、また過去の実績のお話をと言う事で始めさせていただきました。

- ・西ロータリーに入会して40年。子供のころからロータリーはお金持ちしか入れないクラブと思っていたが、紹介により入会し「楽しいクラブ」

と、この 40 年を過ごしてきた。その中で「炭焼き」の思いが非常に印象に残っている。炭焼き用の窯を作りみんなで炭焼きを行い、出来上がった炭はボーイスカウト、平塚市へ寄付したプロジェクトが今でも鮮明に思い出す。

・入会して 29 年目。自分は「奉仕活動有ってのロータリー」であり、ロータリー活動の基本ではないかと思っており、奉仕活動の姿勢は、自分から積極的な姿勢がないとできな。そういう中で、平塚西 RC の過去の三大プロジェクト、炭焼き、ネパール支援、歯科支援の内、ネパール支援プロジェクトに参加できたことに誇りを持っている。

・20 年前に 1 年分の年会費と毎週の例会出席が叶うならロータリーへ入会しろと言われての入会。入会して西 RC の仲間は良い人ばかりなので長く続けられると思った。ロータリー活動の思いは親睦もるが、職業での接点、追及が先であり、親睦は後からついてくるものだと思う。

・入会 25 年になる。面接に合格なら入会 OK との勧誘で入会。当時の会員は 52 名。入会しての一番の思い出はネパールの学校開設のプロジェクトが立ち上がり、本当に大丈夫か？騙されないか？との思いがある中、情報収集、勉強会を経て、ネパールへの視察を行い、総額 500 万円、内訳として学校建設費 250 万円、5 年間の運営費 250 万を出来高払いでの支払いで、学校も完成、そして 5 年間の運営補助が終了した話を頂いた。そして「ネパール、その後」と言う事で、学校の増築、コンピューター室の新設の話が立ち上がろうとしているところで、秋にはその辺での打ち合わせに行く。

・入会 18 年。クラブの魅力を続けるためには、
1、昔の活動を押し付けない
1、出席を義務と考えるべきである
1、奉仕の追及を徹底すべきだが、自由な思想であるべきで、昔と同じ奉仕はやるべきではない
1、卓話は多様性のある講師の依頼とオープンセミナーの開催をどんどん行うべきである

●新会員がロータリーに望むこと

新会員の出席が叶わず、意見を頂けず残念でしたが自分から 1 点意見を述べさせていただきますと、新会員は新しいエネルギーを運んで来ますので、1~2 年後にはその受け皿をなるべく活動の場を提供して欲しいと思っています。例えば、若手齋藤会員を幹事に採用したようなこと、大変良い事だと思います。また、女性が今後入会したら有効

な活動が出来る体制の検討をお願いします。

●クラブの将来像を考える

この議題に入る前に時間が終了となり、話し合いは出来ませんでした。先程の先輩会員のお話の中で隅々端々に絡みの話が出てきましたので報告いたします。

1、新入会員、どんな人物が入会してくるか楽しみ

1、良い食事、良い卓話を行うクラブ

II

楽しいクラブとなり自然と出席も良くなる

1、三大プロジェクトの後、西 RC の活動の中で自分的には東北震災支援プロジェクトに参加したことで、少し社会奉仕の達成感が感じられたので、今後新たなプロジェクトの立ち上げに期待している。



第 2 班 小泉班長

今回のテーマは、

- 1、ロータリークラブの魅力
- 2、クラブの将来像を語る
- 3、その他

この 3 つのテーマに沿って皆様から多くのご意見をいただきました。

まずテーマ 1 のロータリークラブの魅力についてですが先輩会員からのお話を多数いただきました。出席者の方々は、皆様、長谷川さんを除いて、私より先輩でして長谷川さんも西クラブでは、新会員ですがロータリー歴は、大先輩ですので事実上、私が一番ロータリー歴が浅いことに気が付きました

先輩会員のお話をご紹介します。

- ・異業種の人たちが集まり、年齢もそれぞれ違い環境も違うが楽しくできるのが良いのが、最大の魅力。
- ・ロータリーは楽しい、いろいろな経験ができた。ただ、ひとにはできる範囲があり、自分の限界をこえてまでやるつもりはない。(自分を犠牲にしてまでや

らない)

- ・自分の生活範囲の人たちとのつきあいとは別に、ロータリーの人たちとの付き合いはべつで、新しい仲間ができて、新しい出会いができる。とても良い勉強をさせていただける、またロータリーは平等なのがいい。
- ・年齢の垣根をこえて仲間になれる。地元の友人よりもロータリーの友、ロータリーの名で、交際範囲が広がり、また、ロータリーの看板で、だれとでも話ができる。ロータリーの信用度も高い。以前留学生を何人も預かったことがあり、海外からのクリスマスカードが届くのもロータリーのおかげだと思う。また自分の子供たちが外国人に対しての違和感がなくなったように思う
- ・平塚に来たときは誰も知り合いがいなかったが、ロータリーに入会して多くの仲間ができた。普通なら経験できないこともたくさん経験できた。ただ仕事ながら、なかなか出席できないが、夜とか出席できるときは、できるだけ出席したい。ひとつだけロータリーのいやなところをあえて言わせていただくと、奉仕の心を本当に持っている人がいったい何人いるのか疑問に思う。自分のできることをやれば、よいのではないか、と思う。
- ・ロータリーはやってみないと魅力はわからないと思う。
- ・ロータリーに入ってさまざまな経験ができて、よかった。私は、ロータリーにはいっていなかったら、たぶん一生、竹まんさんの料理を食べられなかったとおもいます。
- ・また、長谷川さんに大和中ロータリークラブとの違いをお聞きしました。まず出席率についてうるさくない、月3回の例会ではさびしい。とのことでした。



第2班 小泉班長

●ロータリークラブの魅力

- ①多くの方々とのつながりが持てた。
業種・業界を超えてのつながりができた。普段知り合うことができない人と知り合って、そのおかげで自分の仕事や私生活の面で広がりがあった。
- ②長く続けていくほど、クラブの良さがわかる。
長く続けることによって会員同士の信頼関係が

広がった。

- ③仕事上でのお付き合いも広がり、メリットが大きかった。
仕事をいただいていることもあり責任感がわいてきた。
 - ④他のクラブの例会にも積極的に参加すると良い。
他のクラブへのメイクアップにより他クラブの会員とのつながりもでき、さらにおつきあいに広がりがあった。第8グループ、2780地区に限らず、どこのクラブにも出席できる。
- ロータリーにのぞむこと
- ①地元に貢献できることをもっと増やしてはどうか？
外国への奉仕活動も一つの奉仕活動だが、それとは別に我々が住んでいるこの地元でもっとできることがないか、会員皆で話し合ってみてほしい。障がい者、高齢者、地域での困っていることなど皆で情報を出し合って共有して解決の糸口を見出していく。それも一つの活動ではないか。
 - ②例会以外での会員の親睦の場をもっと増やして欲しい。
夜間例会など、普段話せないようなことを話せるような場があればもっと会員同士の親睦がはかれるのではないか。
 - ③親睦旅行も良いが、普段なかなか食せない美味しい料理を食べる企画を増やしては？
 - ④会員の方々のお店をもっと利用したら良いのでは？

●クラブの将来像

- ①50名以上いたかつてのクラブに復元する。
会員同士、どこのどんな人がいるのか情報を共有し合って会員増強を図る。情報がないと動きが取れない。みんなで考えることによっていろいろな方法がわかる。
- ②若い会員にも魅力的に映るロータリークラブ。
どんな活動をしているのかももっとPRが必要。

当日は時間通りに全員が集まり、最初に会長の課題を話し合うのかと思っていたら、阿川班長が、「それでは乾杯しましょう」との発言があり、お酒を飲みながら意見を出し合った。

◆ 幹事報告 ◆

●2780地区より●

*11月ロータリー財団月間卓話者のお知らせ
11月14日(水)
卓話者：大谷 新一郎直前ガバナー

◆ 受 理 ◆

- *ガバナー月信
- *湘南ジャーナルより 役員変更挨拶状
- *チャイルドフアンドジャパンより
 - ・2017年度年次報告書
 - ・不要になった本で寄付ができますのお知らせ
- *平塚市美術館より
 - ・小倉遊亀展のお知らせ

◆ ス マ イ ル ◆

- ◆成田会長◆

情報集会に多数の会員の参加をいただきありがとうございました。
柳川さん結婚祝おめでとうございます。
- ◆大畑会員◆

妻の誕生祝ありがとうございます。
- ◆山田会員◆

結婚祝の柳川さんおめでとうございます。
当クラブ歴代のアルバムを整理していますが、葛西・美谷・西方・渋江・近藤(勉)・大畑・成田・荒井・縄島年度の写真が事務局にありません。
ご自宅にあります写真をお貸し頂けると助かります。

◆近藤(陽)会員◆

本日は所用により中座いたします。
情報集会の発表、宜しくお願いします。
柳川修さん結婚祝おめでとうございます。

◆久保田会員・荒井会員・関口会員・片倉会員・佐藤会員・伊藤会員・佐々木会員・齋藤会員・小網会員・長谷川会員◆

結婚祝の柳川修さんおめでとうございます。
各班長さん情報集会の発表よろしくお祈いします。

◆ 次 回 例 会 ◆

10月3日(水)

ゲスト卓話 松元 宏康様

「指揮者のおしごと」